

## 平成 25 年度 第 1 回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 25 年 4 月 23 日（火）13:30～15:15

場 所：管理棟 2 階中会議室

出席者：〔委 員〕林学長、田中人文学部長、上原理事、山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、有馬学生部長、加藤教務部長、年森委員、長友委員

〔事務局〕佐山事務局長、伊豆企画総務課長、河野学務課長、黒木就職支援室長  
福嶋企画総務課長補佐、渡邊学務課長補佐

欠席者： なし

配付資料

- ①平成 25 年度 宮崎公立大学名誉教授の選考について
- ②組織図、平成 25 年度部会委員構成一覧表
- ③公立大学法人宮崎公立大学平成 25 年度計画 策定方針
- ④平成 24 年 4 月 12 日付「是正措置報告書」に基づく是正措置の 3 月末
- ⑤平成 24 年度就職内定状況（過年度との比較）
- ⑥平成 25 年度 入学者の状況
- ⑦平成 25 年度科学研究費等採択状況
- ⑧平成 25 年度「韓国語Ⅱ A 組」の時間割変更について

その他配布資料

- ・大学基準協会資料
- ・宮崎公立大学名誉教授の選考の手續に係る申し合わせ事項

委員紹介、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

### 議事 1 平成 25 年度宮崎公立大学名誉教授の選考について

事務局長が、配付資料①に基づき、本学の名誉教授の選考スケジュールについての説明を行った後、学部長から名誉教授の選考手続きに係る申し合わせ事項について、「懲戒処分を受けたものは推薦しない」とした理由についての説明があった。

また、20 周年事業の一環で行うことと、今回の対象者が 4 名になることが報告された。

審議の結果、名誉教授選考のスケジュールが承認され、今後この計画に沿って進められることになった。

### 報告 1 平成 25 年度組織図および部会の構成について

企画総務課長から、平成 25 年度組織図および部会の構成について、配付資料②に基づき、効率化と集中を図るため、昨年度までの 14 部会を 8 部会に再編し、4 部長がそれぞれ 2 つの部会長を兼ね、委員構成としては、教授は 2 つの部会、准教授以下は 1 つの部会を担当すること、職員は係と連動して配置したことの報告があった。

## 報告 2 平成 25 年度計画について

企画総務課長から、配付資料③に基づき、平成 25 年度計画の策定方針として、今年度行う主な新規の取組みと来年度以降に導入・実施を目指す取組み、また、第 2 期中期計画で重点方策に対する主な取組みについての報告があった。

## 報告 3 是正措置報告について

企画総務課長から、配付資料④に基づき、平成 24 年度 4 月 12 日付「(ハラスメント) 是正措置報告書」に基づく是正措置の 3 月末現在の実施状況について、市に対し 4 月 17 日で行ったことの報告があった。

また、ハラスメント防止・対策委員長から 3 月にチェックリストを作成し自己点検を行ったが、今後、5 月に教職員に対しても自己点検を実施する予定であることが報告された。

## 報告 4 平成 24 年度就職状況について

就職支援室長から、平成 24 年度就職状況について、配付資料⑤に基づき、214 名の卒業生の内 170 名が就職を希望し、166 名が内定（就職率 97.6%）したこと、内定獲得数は 254 名（重複あり）であったこと、また、就職を希望しない卒業生は進学や留学、公務員希望、結婚、留学生などであったことが報告された。

また、キャリアコンサルタントの資格を職員が取得するとの報告もあった。

## 報告 5 平成 25 年度入学者の状況について

学務課長から、平成 25 年度の入学者の状況について、配付資料⑥に基づき、男子 49 名（22.4%）、女子 170 名（77.6%）、合計 219 名で、県内は 45.2%の 99 名であったことが報告された。

また、平成 25 年度の入試結果として、志願者が 999 名、受験者が 677 名、志願倍率が 5.0 倍、実質倍率が 2.4 倍と昨年の 2.1 倍よりも 0.3 ポイント高くなったことが報告された。

## 報告 6 平成 25 年度科学研究費等採択状況について

企画総務課長から、平成 25 年度の科研費採択状況について、配付資料⑦に基づき、科学研究費補助金には合計で 9 件の申請があり、新規 0 件、継続 3 件、研究分担者 3 件の合計 6 件（昨年度 9 件）が採択されたことが報告された。

また、受託研究費として日本学術振興会二国間交流事業・共同研究に 1 件、総務省戦略的情報通信開発推進制度（SCOPE）に 1 件が採択されたことも報告された。

## 報告 7 平成 25 年度韓国語ⅡA 組の時間割変更について

教務部長より、平成 25 年度後期開講の韓国語ⅡA 組の時間割について、配付資料⑧に基づき、10 名の学生が他の科目と重複したため、木曜 3 限から月曜 3 限に変更した経緯と内容について報告があった。

また、今後の対応として学生の要望により受講者数が変動する韓国語 A 組等については、時間割作成の段階で他のクラス編成に影響のない時限に調整するとの説明もあった。

## その他

学部長より、大学基準協会の内部質保証は、大学教育の改善、改革を行うための手段であり、質の高い学士課程教育の質的転換を図るためには、一方的な授業形態ではなくアクティブラーニングや双方向的な講義も必要であり、現在、カリキュラム検討委員会においても検討していることが報告された。

また、図書館の開館時間や学生の学習時間と方法、ハラスメント防止対策委員会アンケートについて意見交換がなされた。

次回開催日時 5月14日（火） 13:30 開催予定

平成 25 年度 第 2 回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

審議日：平成 25 年 5 月 7 日（火）

場 所：各委員への個別説明による審議

出席者：〔委 員〕 林学長、田中人文学部長、上原理事、山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、有馬学生部長、加藤教務部長、年森委員、長友委員  
〔事務局〕 河野学務課長、渡邊学務課長補佐

欠席者： なし

**議事 1 平成 25 年度宮崎公立大学名誉教授の選考に係る教授会への意見聴取について**

平成 25 年度宮崎公立大学名誉教授の選考に関し、部局長から学長に対して候補者の推薦があったため、宮崎公立大学名誉教授称号授与規程第 3 条第 3 項の規定に基づき、教授会への意見聴取を行う旨を説明し、了承を得られた。

## 平成 25 年度 第 3 回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 25 年 5 月 14 日（火）13:30～15:42

場 所：管理棟 2 階中会議室

出席者：〔委 員〕林学長、田中人文学部長、上原委員、年森委員、長友委員、  
山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、有馬学生部長、  
加藤教務部長

〔事務局〕佐山事務局長、伊豆企画総務課長、河野学務課長、黒木就職支援室長  
福嶋企画総務課長補佐、渡邊学務課長補佐

欠席者：なし

配付資料

- ① 平成 25 年度宮崎公立大学名誉教授の選考について
- ② 英国スターリング大学との学術交流協定書（案）
- ③ 私費外国人留学生科目等履修生募集スケジュール（案）  
平成 25 年度後期私費外国人留学生科目等履修生募集要項（案）
- ④ 平成 25 年度短期研修受入事業（韓国 蔚山大学校）短期研修日程表

別添資料

- ① スターリング大学と宮崎公立大学との学術交流協定（案）和訳

委員紹介、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

### 議事 1 平成 25 年度宮崎公立大学名誉教授の選考について

事務局長から、平成 25 年度宮崎公立大学名誉教授の選考から授与までの流れについて説明があった。

人文学部長から、配付資料①を基に平成 25 年度宮崎公立大学名誉教授の選考に関する教授会の意見としては、特に意見がなかった旨の説明があり、4 名の候補者について承認された。

### 議事 2 英国スターリング大学との学術交流協定について

事務局長から、別添資料①と配付資料②を基に「スターリング大学と宮崎公立大学との学術交流協定」の内容について説明があり、委員から次のような意見が出され、その箇所を訂正することで承認された。

- ・第 4 項目に「概して 3. 0、もしくは 4. 0 以上」となっているが、「4 点満点の尺度において、概ね 3 点または、それ以上」が正しいので訂正すべき。

### 議事 3 平成 25 年度後期私費外国人留学生科目等履修生について

学務課長から、配付資料③を基に私費外国人留学生科目等履修生についての募集スケジュール、募集要項についての説明があり、委員から次のような意見が出され、その箇所を訂正することで承

認された。

- ・『IV その他』の『2 単位の認定』において、(11 / 15回)を「7割」の後に入れるべき。

その他の議事はなく、引き続き報告に移った。

#### 報告1 平成25年度蔚山大学校短期研修受入事業について

地域研究センター長より、配付資料④を基に平成25年度蔚山大学校短期研修受入事業の日程の報告があった。

次回開催日時 5月28日(火) 13:30 開催予定

平成 25 年度 第 4 回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 25 年 5 月 28 日（火）13:00～15:42

場 所：管理棟 2 階中会議室

出席者：〔委 員〕林学長、田中人文学部長、上原委員、年森委員

山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、有馬学生部長、  
加藤教務部長

〔事務局〕伊豆企画総務課長、河野学務課長、黒木就職支援室長

福嶋企画総務課長補佐、渡邊学務課長補佐

〔欠 席〕長友委員、佐山事務局長

配付資料

- ① 新・教育課程（カリキュラム）の構成（案）
- ② 編入学について
- ③ 特別研究員制度について
- ④ 宮崎公立大学教職課程充実ワーキンググループ要綱
- ⑤ 平成 25 年度入試広報イベントスケジュールについて
- ⑥ 平成 25 年度後期私費外国人留学生科目等履修生募集要項
- ⑦ 平成 25 年度交換留学生募集要項

添付資料

- ① 新カリキュラムに係る確認事項「進捗管理表」

参考資料

- ① 宮崎公立大学の外国人留学生の受入制度について（案）
- ② 編入学および転入学制度の方針について（案）
- ③ 編入学制度における単位認定について（案）

渡邊学務課長補佐による配付資料確認後、議事録作成者に河野学務課長を指名し議事に入った。

### 議事 1 新・教育課程（カリキュラム）構成の確認について

学部長より、配付資料①・添付資料①を基に新・教育課程（カリキュラム）構成と、特に英語教育プログラムを担当する専任教員 1 名と第 2 種非常勤講師 3 名を置く案について説明があり、審議の結果、一部修正することで承認された。

### 議事 2 編入学制度について

学務課長補佐より、配付資料②・参考資料①②③を基に編入学制度について説明があり、審議の結果、編入学の募集種別は、①一般編入学、②外国人留学生編入学、③外国人留学生推薦編入学とすることが承認された。

### 議事3 特別研究員制度について

企画総務課長より、配付資料③を基に特別研究員制度についての説明があり、対象者（本学卒業生）が特別研究員に採用されれば本学に受入れることが承認された。

### 報告1 平成25年度教職課程充実ワーキンググループについて

教務部長より、配付資料④を基に平成25年度教職課程充実ワーキンググループについて同要綱の制定とメンバーの報告があった。

### 報告2 平成25年度入試広報イベントスケジュールについて

附属図書館長より、配付資料⑤を基に平成25年度入試広報イベントスケジュール（プチキャンパスガイド、キャンパスガイド、夢ナビライブ）について報告があった。

### 報告3 平成25年度後期私費外国人留学生科目等履修生について

学務課長より、配付資料⑥を基に平成25年度後期私費外国人留学生科目等履修生募集について募集要項の修正と出願期間の説明があり、募集開始の報告があった。

### 報告4 平成25年度交換留学生の募集状況について

地域研究センター長より、配付資料⑦を基に平成25年度交換留学生の募集状況について新規募集としてスターリング大学、再募集として蔚山大学校・バンクーバーアイランド大学の報告があった。

次回開催予定 6月11日（火）13：30～15：30



## 平成 25 年度 第 5 回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 25 年 6 月 11 日（火） 13 時 30 分～15 時 43 分

場 所：管理棟 2 階中会議室

出席者：〔委 員〕 林学長、上原委員、年森委員

田中人文学部長、山口附属図書館長、有馬学生部長

宮元地域研究センター長、加藤教務部長

〔事務局〕 佐山事務局長、伊豆企画総務課長、河野学務課長、黒木就職支援室長

福嶋企画総務課長補佐、渡邊学務課長補佐

〔欠 席〕 長友委員

配付資料

1. 平成 24 年度業務実績及び第 1 期中期目標期間事業報告の概要
2. 新・教育課程（カリキュラム）の構成（案）
3. 編入学制度について
4. 平成 26 年度公立大学法人宮崎公立大学研究支援年募集要項
5. 平成 25 年度後期開放授業開設科目について

添付資料

1. 平成 24 年度業務実績及び第 1 期中期目標期間事業報告（事前配布）
2. 新カリキュラムに係る確認事項「進捗管理表」
3. MMU 型リベラルアーツに基づく専攻（コース）の新設について（案）イメージ図
4. 九州内の主な公立大学の編入学実施状況

学務課長補佐の配付資料等の確認後、宮元地域研究センター長から 2 つの報告事項のうち、「平成 25 年度後期開放授業開設科目について」は、要綱で教研審での決定事項となっているので、議事の 5 として取り扱いの申し出があり、了承された。

議事に先立ち、議事録作成者の確認を行った。

### 議事 1 平成 24 年度業務実績及び第 1 期中期目標期間事業報告について

事務局長から、事前配付資料及び配付資料 1 「平成 24 年度業務実績及び第 1 期中期目標期間事業報告の概要」に基づき、説明がされ、質疑応答があり、了承された。

#### 【主な質疑】

委 員：教研審で審議されるまでと今後の流れについて説明を。

事務局：それぞれの業務について、部会、所管事務局等で自己評価をし、理事長等によるヒアリングを経て、教研審、経営審、役員会での審議という流れになっている。

委 員：学生による授業評価について、どのように行われ、どう評価され、フィードバックされているのか。

事務局：FD 部会で実施され、前期、後期ごと集約し、6 段階評価し、集約し、配付しているが、例えば、教員評価の活用に至っていない。

学部長：評価について、回答し、自己反省、向上のため使っている。  
センター長：地域貢献について、方向性と体制をどう見直そうとしているのか。  
学 長：理事長とたたき台としての案を検討する。

## 議事2 新・教育課程（カリキュラム）の構成の確認について

学部長から、配付資料2「新・教育課程（カリキュラム）の構成（案）」、添付資料2「新カリキュラムに係る確認事項「進捗管理表」、添付資料3「MMU型リベラルアーツに基づく専攻（コース）の新設について（案）」により、今回の審議事項（アドミッションポリシー及び英語教育プログラム）について説明がされ、新アドミッションポリシーが絶対条件でないことを確認するとともに、一部修正等を行うことで、了承された。

## 議事3 編入学制度について

学務課長補佐から、配付資料3「編入学制度について」により、説明され、出願資格について分かり易い表現を検討することで、了承された。

## 議事4 平成26年度研究支援年について

企画総務課長から、配付資料4「平成26年度公立大学法人宮崎公立大学研究支援年募集要項について」により、説明され、了承された。

## 議事5 平成25年度後期開放授業開設科目について

地域研究センター長から、配付資料5「平成25年度後期開放授業開設科目について」により、説明され、了承された。

## 報告1 平成25年度公開講座（自主講座）開設について

地域研究センター長から、配付資料5「平成25年度後期開放授業開設科目について」により報告がされた。

## 平成 25 年度 第 6 回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 25 年 7 月 16 日（火）13:30～14:55

場 所：管理棟 2 階中会議室

出席者：〔委 員〕林学長、田中人文学部長、上原理事、山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、有馬学生部長、加藤教務部長、年森委員、長友委員  
〔事務局〕佐山事務局長、伊豆企画総務課長、河野学務課長、黒木就職支援室長  
福嶋企画総務課長補佐、渡邊学務課長補佐

欠席者： なし

配付資料

- ① 新カリキュラムに係る確認事項「進捗管理表」
- ② 編入学制度について
- ③ 平成 25 年度交換留学生について

その他配布資料

朝日新聞「大学ランキング」

宮崎公立大学 大学案内 2014 パンフレット、リーフレット

回収資料

- ① 新カリキュラムにおける「言語・文化専攻」教員の担当科目（案）

委員紹介、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

### 議事 1 新・教育課程（カリキュラム）構成の確認について

学部長が、新カリキュラムに係る提案事項に関して、配布資料①の「進捗管理表」と「教員の担当科目」、「中国語・韓国語関連科目」に基づき下記の提案を行った。協議の結果、下記の 3 点について承認された。

- ①専任教員は、原則として「教養課程」と「専門課程」の 12 授業時数(コマ)を担当する。  
専門演習等、前期・後期の通年で開講する科目は 2 授業時数(コマ)、卒業論文は 1 授業時数(コマ)として算定する。
- ②「東アジア言語教育プログラム」の中国語及び韓国語は、各担当教員がスーパーバイザーとしてプログラム全体の管理を行い、中国語、韓国語各 1 名の第 2 種非常勤講師が担当する。
- ③英語教育プログラム及び東アジア言語教育プログラムの専任教員と第 2 種非常勤講師が「異文化実習プログラム」も担当する。

### 議事 2 編入学制度について

学務課長補佐から、配布資料②に基づき、編入学制度について、第 5 回教育研究審議会後、各部会での検討事項の説明と、下記の提案を行った。

- ①前回、再検討が必要として指摘のあった「私費外国人留学生編入学」の出願資格については、

広く募集したいことから「日本留学試験の日本語科目の読解・聴解・聴読解の合計点が 240 点以上もしくは日本語能力試験 N2 レベルに合格、または、それと同等程度の能力を有する者」とする。

②現行カリキュラムにおける単位認定方法について、2 年次編入の場合は包括認定を 30 単位とし、本学で既に修得している科目、及び、出身大学等で既に修得している科目については、別途、個別に審査を行い、単位認定する。また、包括認定と個別認定の合計単位数が 60 単位を超えた場合は、3 年次編入学とする。

3 年次編入学の場合は包括認定を 60 単位とし、本学で既に修得している科目、及び、出身大学等で既に修得している科目については、別途、個別に審査を行い、単位認定する。

③編入学後の履修科目の指定について、2 年次編入学は 95 単位以上、3 年次編入学は 65 単位以上とする。

前述の①②③の提案について、質問等なく承認された。

## 報告 1 平成 25 年度交換留学生について

国際交流部会長から、平成 25 年度交換留学生の状況について、配布資料③に基づき、下記の報告があった。

①平成 25 年度公費派遣については、4 回の選抜試験を行い、国際交流部会で 3 回審議し、中国蘇州大学 4 名、韓国蔚山大学校 2 名、蔚山科学大学校 1 名、バンクーバーアイランド大学 1 名が 7 月 9 日の教授会で承認された。

スターリング大学については IELTS6.0 であるため該当者なしであった。

②受入留学生については、国際交流部会の持ち回り決裁を行い、韓国蔚山大学校 1 名、蔚山科学大学校 1 名、中国蘇州大学 4 名が教授会で承認された。

主な質問として、派遣留学生の学年と志願状況についての質問があり、蘇州大学 1 年卒 4 名、半年卒 5 名（併願 4 名）、蔚山大学校 1 回目 1 名、2 回目（再募集）1 名、バンクーバーアイランド大学 3 名と回答された。

## その他

その他の資料の説明として河野学務課長より、今年度初めて入試広報対策として取り組んだ朝日新聞「大学ランキング」と今年度作成した「宮崎公立大学 大学案内 2014 パンフレット、リーフレット」の説明があった。

次回開催日時 7 月 23 日（火） 13:30 開催予定

日 時：平成 25 年 8 月 27 日（火）13:30～14:49

場 所：管理棟 2 階中会議室

出席者：〔委 員〕 林学長、田中人文学部長、上原委員、年森委員、  
山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、有馬学生部長、  
加藤教務部長  
〔事務局〕 佐山事務局長、伊豆企画総務課長、河野学務課長、黒木就職支援室長  
福嶋企画総務課長補佐、渡邊学務課長補佐

欠席者：長友委員

配付資料

- ① 新カリキュラムに係る確認事項「進捗管理表」
- ② 平成 26 年度「私費外国人留学生推薦編入学」募集のお知らせ（案）
- ③ 平成 25 年度「教員相互の授業参観」の実施について

添付資料

- ① 新カリキュラム（案）
- ② 平成 26 年度編入学者選抜要項（案）

委員紹介、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

### 議事 1 新・教育課程（カリキュラム）構成の確認について

人文学部長から、新カリキュラム案について、添付資料①を基に専門課程、教養課程、教職課程、履修スケジュールについて説明があった。また、配付資料①を基に新カリキュラムに係る確認事項について、確認を行った。主な確認事項は、以下のとおりで承認された。

- ・ 3 年次への進級要件と卒業要件に TOEIC のスコアの導入を考えていたが、導入しないこととした。
- ・ 「情報処理演習」を 1 科目 1 単位の選択としていたが、必修に変更することとした。

その後、学部長から、新カリキュラム及び現行カリキュラムの単位数比較表（案）について、説明があり、承認された。

### 議事 2 編入学制度について

学務課長から、配付資料②と添付資料②を基に編入学制度について説明があり、委員からの意見はなく承認された。

その他の議事はなく、引き続き報告に移った。

## 報告1 平成25年度「教員相互の授業参観」の実施について

教務部長から、配付資料③を基に平成25年度「教員相互の授業参観」の実施についての報告があった。

- ・委員から外部委員も授業参観できるのかとの質問があり、参観できるとの回答があった。

次回開催日時 9月24日（火） 13:30 開催予定

## 平成 25 年度 第 8 回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 25 年 9 月 24 日（火）13:30～15:05

場 所：管理棟 2 階中会議室

出席者：〔委 員〕 林学長、田中人文学部長、上原委員、長友委員、年森委員  
山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、有馬学生部長  
加藤教務部長

〔事務局〕 佐山事務局長、伊豆企画総務課長、河野学務課長、黒木就職支援室長  
福嶋企画総務課長補佐、渡邊学務課長補佐

配付資料

- ① 新・教育課程（カリキュラム）に係る確認事項「進捗管理表」
- ② 教育課程、新カリキュラム（案）
- ③ 新カリキュラムにおける教員の担当科目（案）別表
- ④ 新カリキュラムにおける専門科目（案）
- ⑤ 必要修得単位数
- ⑥ 魅力ある大学づくり委員会ワーキンググループ（案）
- ⑦ 平成 25 年度就職内々定状況（過年度との比較）

渡邊学務課長補佐による配付資料確認後、議事録作成者に河野学務課長を指名し議事に入った。

### 議事 1 新・教育課程（カリキュラム）構成の確認について

カリキュラム検討委員会委員長：学部長より、配付資料①ほか資料により新カリキュラムにおける以下の事項が提案され、審議の結果、原案通り承認された。

- ① 現代教養科目群における人文学・社会科学・自然科学各分野の科目として、「日本語表現法」、「芸術と生活」、「教養フランス語」、「日本国憲法入門」、「時事問題ガイド」、「子育てと福祉」、「環境とエネルギー」、「自然科学入門」、「自然災害と防災・減災」を開講する。また、国際政治経済専攻における基幹科目の「法学」を「法律学」とする。
- ② 専門課程における専攻の上限人数及び基幹科目の修得単位数は定めない。
- ③ 新担当教員及び専門基礎・基幹・展開の開講科目は配付資料 3 のとおりとする。
- ④ 専攻の展開科目における受講生の上限を原則として 35 人程度として、人数制限を行うこととする。
- ⑤ 新「専門演習 I」の履修要件を、修得単位数 70 単位以上とする。
- ⑥ 卒業要件単位数を 134 単位とする。（必修並びに選択必修、選択の単位数）

## 議事2 魅力ある大学づくり委員会ワーキンググループについて

魅力ある大学づくり委員会委員長：学部長より、配付資料⑥により魅力ある大学づくり委員会の下に学内にワーキンググループ（10 グループ、教職員で構成）を設置し、新カリキュラム導入等における各課題について検討することが提案され、承認された。

## 報告1 平成25年度就職状況について

就職支援室長より、配付資料⑦を基に平成25年度就職内々定状況、公務員就職状況、3年保護者対象の就職ガイダンスの実施予定が報告された。

## 報告2 平成26年度宮崎公立大学研究支援年の適用について

企画総務課長より、「平成26年度宮崎公立大学研究支援年の適用について応募がなかったこと」、また、「当初、新カリキュラム導入の影響で平成27年度・平成28年度分については見送ると教員にアナウンスしていたが、その後新カリキュラム導入において検討したところ、実施が可能と判断されたので、平成27年度・平成28年度についても実施すること」が報告された。

## 報告3 プチキャンパスガイドの実施報告について

入試部会長：附属図書館長より、9月21日実施のプチキャンパスガイドを含めた今年度キャンパスガイドの実施状況について報告された。  
委員からさらなる入試広報対策として学長による高校訪問が効果的であると提案され、了承された。



## 平成 25 年度 第 9 回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 25 年 10 月 22 日（火）14 時 00 分～15 時 40 分

場 所：管理棟 2 階中会議室

出席者：〔委 員〕林学長、上原委員、年森委員 長友委員

田中人文学部長、山口附属図書館長、有馬学生部長

宮元地域研究センター長、加藤教務部長

〔事務局〕佐山事務局長、伊豆企画総務課長、福嶋企画総務課長補佐、渡邊学務課長補佐

〔欠 席〕黒木就職支援室長

配付資料

- ① 教員採用について
- ② 教員昇任について
- ③ 学生による国際活動について

回収資料

1. 平成 25 年度派遣留学生選抜試験結果について（ワイカト大学）

議事に先立ち、議事録作成者の確認を行った。

### 議事 1 教員新規採用について

企画総務課長から配付資料①により説明がされ、承認された。

#### 【主な質疑等】

委 員：専攻分野について EFL だけになっているが、外国語としての英語としての教育の業績のある者を募集することが本学にとって良いのではないか。

事務局：英語の教員と協議した中で EFL の要望があった。

委 員：業績審査会のメンバーは。

事務局：教員選考規程に基づき構成される。

### 議事 2 教員昇任について

企画総務課長から配付資料②により説明がされ、了承された。

#### 【主な質疑等】

委 員：今後の昇任枠の考え方について、枠がなければ昇任できない制度設計となっているので、もう少し緩和できるようにシミュレーションを作成した上での検討してもらいたい。

### 報告 1 国際交流部会からの報告について

・地域センター長から配布資料③に基づき、学生による国際活動状況（学生の学術交流協定校等への派遣等）と平成 25 年度派遣留学生選抜試験結果（ワイカト大学）報告がされた。

## その他

・新カリキュラムの開講科目について、学部長から科目名が決定したこととその科目名の報告がされた。

・平成25年度教員相互の授業参観公開科目について、教務部長から報告がされた。

平成 25 年度 第 10 回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

審議日：平成 25 年 11 月 15 日（火）

場 所：各委員への個別説明による審議

出席者：〔委 員〕 林学長、田中人文学部長、上原理事、山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、有馬学生部長、加藤教務部長、年森委員、長友委員

〔事務局〕 河野学務課長、渡邊学務課長補佐

欠席者： 上原委員

配布資料：①平成 26 年度 宮崎公立大学 私費外国人留学生推薦編入学試験 個別面接の評価基準と方法について（案）

②平成 25 年度 宮崎公立大学 私費外国人留学生入学者選抜試験 個別面接の評価基準と方法について

**議事 1**

私費外国人留学生推薦編入学試験の個人面接の評価基準と方法に関し、資料により説明し各委員から承認を得た。

日 時：平成 25 年 11 月 26 日（火）13:30～16:00

場 所：管理棟 2 階中会議室

出席者：〔委 員〕林学長、田中人文学部長、山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、  
加藤教務部長、年森委員、長友委員

〔事務局〕佐山事務局長、伊豆企画総務課長、河野学務課長、黒木就職支援室長  
福嶋企画総務課長補佐、渡邊学務課長補佐

欠席者： 上原理事、有馬学生部長、

配付資料

- ① 宮崎公立大学の成績評価方法及び基準に関するガイドライン（案）  
シラバス作成のためのガイドライン（案）の作成について  
平成 26 年度授業時間割について（案）
- ② 宮崎公立大学学生支援基本方針（案）
- ③ 宮崎公立大学地域貢献推進に関する基本方針（案）
- ④ 私費外国人留学生 科目等履修生募集スケジュール  
平成 26 年度前期私費外国人留学生科目等履修生募集要項（案）
- ⑤ 「自然災害と防災・減災」の特別な講義としての位置づけについて
- ⑥ 平成 26 年度推薦入学試験 各高等学校別志願者
- ⑦ 平成 25 年度後期開講科目（「中国語Ⅱ A 組」「中国語Ⅳ A 組」）ならびに  
「中国語学習支援講座」の担当者変更について

別途配布資料

公立大学法人宮崎公立大学 平成 25 年度組織図  
平成 26 年度 《前期》 授業時間割（イメージ図）  
シラバス作成のためのガイドライン（案）

委員紹介、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

### 議事 1 魅力ある大学づくり委員会の検討事項について

学部長が、魅力ある大学づくり委員会の検討事項として「宮崎公立大学の成績評価方法及び基準に関するガイドライン」「シラバス作成のためのガイドライン（案）の作成について」「平成 26 年度授業時間割について（案）」の配布資料①等に基づき下記の説明を行った。

- ①魅力ある大学づくり委員会として 10 のワーキンググループを編成し、来年度に向けて各種検討事項を検討していく。
- ②成績評価方法としては他大学同様 S A B C D の 5 段階評価（現在 4 段階）とする。  
毎回必ず授業開始時に出席確認を行い、3 回の遅刻は 1 回の欠席とみなす。  
G P A 制度を導入し、G P A 低い学生に対しては指導を行う。  
専門基礎、基幹、展開科目の相対目安と成績評価基準のガイドラインを設定する。

成績評価に関しては、平常評価、中間評価、期末評価を設ける。

試験・レポート等の評価基準はシラバスに明記する。

- ③シラバスについては現在もあるが統一シラバスのために見直しとガイドラインを作成した。今後チェックする体制についても検討する。

来年度からのシラバスの項目は「概要（現在：講義のねらい）」「到達目標（現在：受験者へのメッセージ）」「評価方法」「テキスト」「参考書」「講義計画および課題（予・復習など）」「オフィスアワー」「備考」とする。

- ④平成 26 年度時間割について、非常勤講師の希望や必修科目を原則通常講義とすることなど留意事項の見直しを行った。

研修日については、教員の要望調査を行い、月・金曜日のいずれかに設定予定である。

演習の授業日については現行の水・金曜日から水・木曜日に変更し、1 年次の必修科目は午前中に集中させる。

火曜日 3 限以外に金曜日 5 限を空きゴマとして設定する。

審議の結果、「成績評価方法及び基準に関するガイドライン」「シラバス作成のためのガイドライン」「平成 26 年度授業時間割」の方針については承認された。

## 議事 2 宮崎公立大学学生支援基本方針について

学務課長から、宮崎公立大学学生支援基本方針（案）について、配布資料②に基づき、学生支援の目的、組織の位置付け等の提案を行った。

審議の結果、抽象的で具体的な内容が分からない意見等もあり、継続審議として、もう少し時間をかけて協議することになった。

## 議事 3 宮崎公立大学地域貢献推進に関する基本方針について

宮元地域研究センター長から、年度計画に挙げられている「地域貢献推進に関する基本方針（案）」について配布資料③に基づき提案された。主な内容は、下記のとおり。

- ①他大学の基本方針の事例が少なかったため、一部の大学を参考に、「地域への開放」「人材の育成」「研究や情報の発信」「各種団体との連携・協働」「センターの機能強化」の構成とした。

- ②今後細則で具体的な内容を検討するので、それに基づき人員等を要求していきたい。

審議の結果、観点等大枠は良いが文章等を精査する必要があり、また、大学にはグローバルや生産性等も求められていることから、継続審議としてもう少し時間をかけて協議することになった。

## 議事 4 平成 26 年度前期私費外国人留学生科目等履修生について

渡邊学務課補佐から、配布資料④に基づき、平成 26 年度前期私費外国人留学生科目等履修生の募集に関する、今後のスケジュールと募集要項（案）について、現在は必修科目と演習科目を履修対象科目から除くことになっているが、外国人留学生としては新カリキュラムの必修科目である専門基礎科目が受講しやすいと思われるため、履修対象として良いか提案された。

審議の結果、新カリキュラムで必修である専門基礎科目も私費外国人留学生科目等履修生の履修対象とすることが承認された。

## 議事5 新カリキュラム 現代教養科目群 自然科学分野の講義内容について

学部長から、配布資料⑤に基づき、新カリキュラムにおける現代教養科目群の自然科学分野「自然災害と防災・減災」について、特別な講義として位置付けて良いか提案があった

主な内容は下記のとおり

- ・防災士の資格を取得することを目的として開講する。
- ・開講するためには本学が認証研修機関となる必要があり、受講生は教本を3,000円で購入し、防災士資格取得試験を3,000円で受験し、更に登録するために5,000円の費用が掛かるなど様々な要件があり、一般講義では開講できない。
- ・防災士資格は若いうちに取得することに意味があり、一般市民も関心があると思うので、開放授業の定員を通常の5名から20名程度に増やして開講したいと思う。
- ・新カリキュラムの科目であるが、在学学生も履修可能として欲しい。
- ・講義を開講するためには専門家を講師に呼ばないといけないが、防災士養成を条件に一般社団法人みやざき公共・協働研究会と連携しなければ開講できない。
- ・カリキュラム検討委員会でも検討したが、一部の教員から講義としては相応しくないとの意見があった。
- ・防災士の最大のメリットは自分の命を守れることであり、各学校で1名必要になっている。
- ・研修機関であれば3日でとれるが、通常講義としてじっくり学ぶことに意味がある。
- ・全国で9大学のみしか開講しておらず、本学の地域貢献の売りになる。

審議の結果、申請のデッドラインに合わせて改めてスケジュールを組んで次回の教育研究審議会を開催し、シラバスや講義計画、防災士の資格取得が単位修得の条件になるのか等、担当教員の同席により、講義の詳細について再度協議することになった。

## 報告1 平成26年度推薦入学試験の志願者について

入試部会長から、平成26年度推薦入学試験の志願者68名の各高等学校別状況について、配布資料⑥に基づき報告され、志願者の結果と県内高校の現状等について意見交換された。

## 報告2 平成25年度後期開講科目ならびに「中国語学習支援講座」の担当者変更について

教務部長から、配布資料⑦に基づき、平成25年度後期開講科目の「中国語Ⅱ A組」「中国語Ⅳ A組」と「中国語学習支援講座」担当の第1種非常勤講師について、一身上の都合（出産）により変更になることが報告された。

## その他

特になし

次回開催日時 12月17日（火） 13:30 開催予定

平成 25 年度 第 12 回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 25 年 12 月 3 日（火）15:00～16:45

場 所：管理棟 2 階中会議室

出席者：〔委 員〕 林学長、田中人文学部長、上原委員、年森委員、  
有馬学生部長、加藤教務部長

〔委員以外〕 辻教授

〔事務局〕 佐山事務局長、河野学務課長、黒木就職支援室長、  
福嶋企画総務課長補佐、渡邊学務課長補佐

欠席者：長友委員、山口附属図書館長、宮元地域研究センター長

配付資料

- ① 「自然災害と防災・減災」の特別な講義としての位置づけについて
- ② 新カリキュラムにおける基礎演習の位置付けについて（案）
- ③ 英国スターリング大学春期プログラム調査への助成について（案）

資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

**議事 1 新カリキュラム 現代教養科目群 自然科学分野の講義内容について（継続審議）**

人文学部長から、配付資料①を基に「自然災害と防災・減災」の特別な講義としての位置付けについて、徳島大学と香川大学の事例も交えて説明があった。また、辻教授から、「自然災害と防災・減災」の講義概要について、説明があった。その後、協議した結果、以下の事項などが確認され、承認された。

- ・ 前回の説明では、防災士の資格取得が前面に出ていたが、防災士の資格取得は単位修得の条件ではないことが確認できた。
- ・ 本学において考えている講義内容及び徳島大学と香川大学の事例の説明から、本学における講義としてふさわしいことが確認できた。

**議事 2 魅力ある大学づくり委員会の検討事項について**

人文学部長から、配付資料②を基に「新カリキュラムにおける基礎演習の位置付け」について説明があり、委員からの特段の意見はなく承認された。

**議事 3 英国スターリング大学春期プログラム調査への助成について**

学務課長から、配付資料③を基に英国スターリング大学春期プログラム調査への助成について説明があり、委員からの特段の意見はなく承認された。

次回開催日時 12 月 17 日（火） 13:30 開催予定

## 平成 25 年度 第 13 回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 25 年 12 月 17 日（火）13:30～16:10

場 所：管理棟 2 階中会議室

出席者：〔委 員〕林学長、田中人文学部長、上原委員、長友委員、年森委員  
山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、有馬学生部長  
加藤教務部長

〔事務局〕佐山事務局長、伊豆企画総務課長、河野学務課長、黒木就職支援室長  
福嶋企画総務課長補佐、渡邊学務課長補佐

配付資料

- ① 新カリキュラムにおける教員の担当科目イメージ（案）
- ② 科目ナンバリングのコード配分規則について
- ③ 魅力ある大学づくり委員会の検討事項について
- ④ 宮崎公立大学地域貢献推進に関する基本方針（案）
- ⑤ 高等学校の新課程に対応した入試科目の取り扱いについて
- ⑥ 平成 25 年度就職内々定状況（過年度との比較）

渡邊学務課長補佐による配付資料確認後、議事録作成者に河野学務課長を指名し議事に入った。

### 議事 1 新・教育課程（カリキュラム）構成の確認について

カリキュラム検討委員会委員長：学部長より、配付資料①・②により新カリキュラムにおける教員担当科目イメージ・専門科目開講年次・科目ナンバリングのコード配分規則が提案され、原案通り承認された。

また、教員に新カリキュラムナンバリング関連科目調査を実施することが承認された。

### 議事 2 魅力ある大学づくり委員会の検討事項について

魅力ある大学づくり委員会委員長：学部長より、魅力ある大学づくり委員会の検討事項について配付資料③により提案があり審議の結果、以下のとおりとなった。

- （1）新カリキュラムにおける基礎演習について「1 年次前後期開講、学生による教員希望選択制とする。教員希望選択は学生にガイダンス前に教員授業内容をホームページ等で案内し教員希望を取りクラス分けを実施する。併せて、基礎演習担当教員への変更案内、指定図書を選定等を依頼する。」ことが承認された。
- （2）成績評価方法及び基準に関するガイドラインについては継続審議となった。

### 議事 3 宮崎公立大学地域貢献推進に関する基本方針について

地域研究センター長（地域貢献部会長）より、宮崎公立大学地域貢献推進に関する基本方針について配付資料④により提案があり、審議の結果、一部修正の上承認された。



#### 議事4 高等学校の新課程に対応した入試科目の取り扱いについて

附属図書館長（入試部会長）より、平成27年度入学者選抜における高等学校の新課程に対応した入試科目の取り扱いについて配付資料⑤により提案があった。

審議の結果、本学の平成27年度入学者選抜において旧課程履修者に対する経過措置としてセンター試験の数学・理科の旧課程科目も利用可とすることが承認された。

#### 報告1 平成25年度就職状況について

就職支援室長より、配付資料⑥により12月12日現在の平成25年度就職内々定状況及び就職支援状況が報告された。

#### 報告2 その他について

委員より、授業参観についての参加報告があった。

平成 25 年度 第 14 回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 26 年 1 月 27 日（火） 13 時 30 分～16 時 29 分

場 所：管理棟 2 階中会議室

出席者：〔委 員〕 林学長、上原委員、年森委員 長友委員

田中人文学部長、山口附属図書館長、有馬学生部長

宮元地域研究センター長、加藤教務部長

〔事務局〕 佐山事務局長、伊豆企画総務課長、河野学務課長、黒木就職支援室長

福嶋企画総務課長補佐、渡邊学務課長補佐

配付資料

1. 新カリキュラムに係る確認事項「進捗管理表」
2. 新カリキュラムにおける教員の担当科目（案）
3. 科目ナンバリングのコード配分規則について（案）
4. 新カリキュラム 開講年度と単位数
5. 魅力ある大学づくり委員会の検討事項について
6. 宮崎公立大学学生支援基本方針について（案）
7. 平成 26 年度学年歴（案）
8. 平成 26 年度前期開放授業開設科目について
9. 短期研修（受入）および異文化実習（派遣）について

添付資料

1. 宮崎公立大学のシラバス作成のためのガイドライン（案）

議事に先立ち、議事録作成者の確認を行った。

**議事 1 新・教育課程(カリキュラム)構成の確認について**

学部長から配付資料により説明がされ、質疑応答があり、了承された。

**議事 2 魅力ある大学づくり委員会の検討事項について**

学部長から配付資料及び別添資料により説明がされ、了承された。

**議事 3 宮崎公立大学学生支援基本方針について（継続審議）**

学生部長から配付資料に基づき説明された。委員から人材育成目標に掲げると教育目標との整合性についての質問がされ、学生支援基本方針は重要な方針であることから、再度、今回委員から出た意見を踏まえ再度検討、継続審議することとなった。

**議事 4 平成 26 年度学年歴について**

・教務部長から配付資料に基づき説明がされた、承認された。

**議事 5 平成 26 年度前期開放授業開設科目について**

・地域研究センター長から配付資料に基づき説明がされ、承認された。

**報告 1 国際交流部会からの報告について**

地域研究センター長から配付資料に基づき報告がされた。

## 平成 25 年度 第 15 回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 26 年 2 月 18 日（火）13:30～15:45

場 所：管理棟 2 階中会議室

出席者：〔委 員〕林学長、田中人文学部長、上原理事、山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、有馬学生部長、加藤教務部長、年森委員、長友委員

〔事務局〕佐山事務局長、伊豆企画総務課長、河野学務課長、黒木就職支援室長  
福嶋企画総務課長補佐、渡邊学務課長補佐

欠席者： なし

配付資料

- ①魅力ある大学づくり委員会の検討事項について
- ②宮崎公立大学学生支援基本方針について（継続審議）
- ③学生の授業出席に関する内規について
- ④台風等に伴う授業の取扱に関する内規について
- ⑤新カリキュラム導入に伴う教職課程の科目変更について
- ⑥私費外国人留学生推薦編入学の単位認定と編入学年次について
- ⑦平成 24 年度研究支援年研究活動報告について
- ⑧新カリキュラムに伴う宮崎公立大学学生要覧について
- ⑨平成 26 年度学年暦について

その他配布資料

- ・ 宮崎公立大学学生の授業出席に関する内規
- ・ 大学における学生生活の充実方策について（文部科学省報告）
- ・ 平成 26 年度 授業時間割（案）

委員紹介、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

### 議事 1 魅力ある大学づくり委員会の検討事項について

魅力ある大学づくり委員会の検討事項として、学部長がスチューデント・アシスタント制度に関する提案を、地域研究センター長が語学センター推進WG及び地域貢献WGの報告を行った。主な提案は下記のとおり

#### ①スチューデント・アシスタント制度について（案）

- ・ 教育支援として、教育の質の向上を図ることを目的とする。
- ・ 種別および業務は、語学・情報支援 S A が履修学生の指導教員の補助で、講義支援 S A が履修登録人数が 180 人以上の授業での出席管理業務、資料配布等の補助とする。
- ・ S A 制度採用の可否は授業担当教員の申請とし、採用に当たっては学内に公募し面接等により決定する。

#### ②語学センター推進WG活動状況について（報告）

- ・ WG としては、語学・留学専門部門の設置と国際交流の支援のあり方の検討を行う予定であったが、現在、語学センターの設置を優先して検討を行ってきた。
- ・ 語学支援、国際交流支援を行う部署の設置に関しては、平成 26 年 2 月に仮設置を行い、来年

度、語学教育プログラムを担当する教員を中心に新規採用予定の第2種非常勤講師の意見を取り入れながら内容の詳細を検討し、マルチメディア第2自習室に本設置を行う予定である。

- ・センターでは語学指導だけでなく、留学指導を含めた総合的な語学支援を行う必要がある。
- ・第2種非常勤講師が日替わりで常駐するとともに、公費留学の経験を一般学生にフィードバックするため、公費留学を終えて帰国した学生をSAとして活用することを検討している。

### ③地域貢献ワーキング・グループ報告書

- ・検討事項として、学生ボランティアの位置づけ（大学が組織としてどのように関わるのか）、学生ボランティアのPR方法、ボランティア支援室の活用、地域貢献活動に関する研究支援、大学の地（知）の開放を促進する方策について検討した。
- ・学生ボランティアの位置付けとしては、特に「全学募集型ボランティア」に本学が組織的に関わるべきという結論に至った。
- ・学生ボランティアのPRとしては、ボランティア活動の情報収集、学生への情報提供、ボランティア活動履歴の蓄積と活用が必要であり、本学がより積極的に取り組む場合は、教育効果が高く、地域の課題解決につながるボランティア・プロジェクトの企画実施等も必要であるが、大学が受胎的に業務を行うためにはコーディネーター等適切な人材が必要である。
- ・学部長から、地域の課題解決につながるボランティア・プロジェクトの企画実施については、現在新カリキュラムの基幹演習の中で検討しているとの補足説明があった。

審議の結果、スチューデント・アシスタント制度について（案）については承認、（仮称）語学センターの名称については前回の教育研究審議会で「国際化推進センター」と決定したが、再検討を行い「グローバルセンター（for Language Learning and International Exchange）」に決定した。また、ボランティア活動については今後予算等を含め検討していくことになった。

## 議事2 宮崎公立大学学生支援基本方針について（継続審議）

継続審議となっていた宮崎公立大学学生支援基本方針（案）について、学生部長から提案された。目的に個々の能力を挙げることは必要なのかという意見等あり、議論した結果、文言の修正については学生部会に一任し学長に確認することで、学生支援基本方針については承認された。

## 議事3 学生の授業出席に関する内規について

学生の授業出席に関する内規の修正について、教務部長から提案された。

特別欠席に関する主な変更点（3点）については、下記のとおり

- ・特別欠席の上限を3回までとする。（通常の授業4回と合わせ7回となり半分以上は出席）
- ・課外活動については事前に分かっているので、特別欠席願いは事前申請とする。
- ・「自己の責によらない交通事故または病気・けが」の自己の責は判断が難しいので「入院が必要なとき」とする。
- ・なお、現時点ではボランティア活動は特別欠席の対象外としている。

審議の結果、学生の授業出席に関する内規の修正については、質問等もなく承認された。

#### 議事4 台風等に伴う授業の取扱に関する内規について

台風等に伴う授業の取扱に関する内規の修正について、ついて、教務部長から提案された。

主な内容については、下記のとおり

- ・宮崎の場合、鉄道はすぐに止まる可能性があるので、台風等に伴う休講の条件としては「路線バスが運行を見合わせていた場合」だけに限定した。

審議の結果、台風は暴風だけでなく大雨もあるので追加した方が良いとの意見があり、大雨警報を追加し、「宮崎市に暴風警報または大雨警報が発令され」とすることで承認された。

#### 議事5 新カリキュラム導入に伴う教職課程の科目変更について

新カリキュラム導入に伴う教職課程の科目変更について、教務部長から提案された。

来年度からの新カリキュラムの導入に伴い、科目名称が変更になった科目と新規に追加し充実させた科目の説明があり、審議の結果、質問等もなく承認された。

#### 議事6 私費外国人留学生推薦編入学の単位認定と編入学年次について

私費外国人留学生推薦編入学の単位認定と編入学年次について、事務局からこれまでの決定事項の確認を行い、平成26年度に編入学する学生について単位認定等具体的な提案を行った。

主な内容は以下のとおり

<決定事項の説明>

- ・単位認定方法は、個別認定と包括認定の併用方式とし、単位認定数の上限は特に設定しない。
- ・2年次編入学は、原則として、学术交流協定校または了解覚書締結校の2年次修了以降のものとし、既習得単位は30単位を包括的に認定し、入学後、必修科目、選択必修科目、専門課程の指定した科目を履修するものとする。
- ・本学で既に修得している科目、及び、出身大学等で既に修得している科目については、別途、個別に審査を行い、単位認定し、包括認定と個別認定の合計単位数が60単位を超えた場合は、3年次編入学とする。
- ・3年次編入学は、原則として、学术交流協定校（4年制大学）を卒業または卒業見込みのものとし、既習得単位は60単位を包括的に認定し、編入学後、指定科目を履修するものとする。

<審議事項（教務部会承認済）>

- ・本学において交換留学および科目等履修生として修得した単位の内、日本語以外の科目については個別認定し単位を認める。
- ・2年次編入学であるが、個別認定の単位数が30単位を超え、包括認定との合計が60単位を超えるので3年次編入学とする。
- ・入学後に履修する必修科目の指定については、3年次編入学となるため、専門演習Ⅱ・Ⅲの8単位とする。
- ・専門演習Ⅱの所属について、定員（10名）に達している専門演習を希望する場合は、担当教員と協議し、特例として柔軟な対応を行う。

上記の審議事項について、留学生に対する就職のケアや宿舎が必要等の意見があったが、審議の結果、質問等はなく承認された。

### 報告1 平成24年度研究支援年研究活動報告について

平成24年度研究支援年研究活動状況について、企画総務課長から、研究活動の具体的な内容及び成果概要、研究活動成果の公表（単著・共著）の報告があり、将来的にはサバティカル制度の導入の検討が必要との意見があった。

### 報告2 新カリキュラムに伴う宮崎公立大学学生要覧について

新カリキュラム導入に合わせた来年度の学生要覧について、学部長から教育課程の骨子説明があり、2014年度版は今年度の学生要覧の修正程度に留め、2015年度版は来年度大幅に見直しを行うとの報告があった。

### 報告3 平成26年度学年暦について

平成26年度学年暦について、教務部長から「履修登録変更期間」追加の報告があった。

### その他

特になし

次回開催日時 3月18日（火） 13:30 開催予定

平成 25 年度 第 16 回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 26 年 3 月 18 日（火）13:30～16:09

場 所：管理棟 2 階中会議室

出席者：〔委 員〕林学長、田中人文学部長、上原委員、年森委員、長友委員、  
山口附属図書館長、有馬学生部長、加藤教務部長  
〔事務局〕佐山事務局長、伊豆企画総務課長、河野学務課長、黒木就職支援室長  
福嶋企画総務課長補佐、渡邊学務課長補佐

欠席者：宮元地域研究センター長

配付資料

- ① 公立大学法人宮崎公立大学 平成 26 年度計画  
公立大学法人宮崎公立大学 平成 26 年度計画策定に向けた考え方
- ② 新カリキュラムに係る科目名称の変更、英語教育プログラム科目等の取扱いについて
- ③ 科目ナンバリングのコード配分規則について（案）
- ④ 魅力ある大学づくり委員会の検討事項について
- ⑤ 宮崎公立大学学則（案）
- ⑥ 宮崎公立大学人文学部専攻長に関する規程（案）  
宮崎公立大学の教育課程等を定める規程（案）  
宮崎公立大学における研究活動上の不正行為の防止等に関する規程 新旧対照表（案）
- ⑦ 平成 26（2014）年度開講科目一覧（案）
- ⑧ 教員の採用及び昇任について
- ⑨ 平成 26 年度入学試験状況
- ⑩ 平成 25 年度就職内定状況（過年度との比較）
- ⑪ 「学生による授業評価」の来年度以降の実施方法について
- ⑫ 宮崎公立大学教職課程の教員養成の理念と人材育成について
- ⑬ 宮崎公立大学市民講座について

別添資料

- ① 新カリキュラムの開講科目
- ② 新カリキュラムにおける教員の担当科目（案）
- ③ 平成 26 年度授業時間割（案）

参考資料

- ① 宮崎公立大学学則
- ② 宮崎公立大学の教育課程等を定める規程
- ③ 宮崎公立大学における研究活動上の不正行為の防止等に関する規程

資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

### 議事1 公立大学法人宮崎公立大学 平成26年度計画(案)について

企画総務課長と学務課長から、配付資料①を基に公立大学法人宮崎公立大学 平成26年度計画(案)について説明があった。

委員から次のような意見が出され、現在詳しい入試分析を行っているところであり、その結果を踏まえて、平成26年度は例年以上に改善していくことの説明があった。その他に特段の意見はなく、承認された

・県内高校出身の入学者が、高い割合で安定するように努めてほしい。(「入試広報の充実と入試体制・制度の検討」資料4頁)

### 議事2 新・教育課程(カリキュラム)構成の確認について

人文学部長から、配付資料②と③、別添資料①と②を基に新・教育課程(カリキュラム)構成の確認について説明があり、委員から次のような意見が出され、協議の結果、意見どおりに訂正することで承認された。

・教養課程の情報教育プログラムにおける2年次の必修科目の「プレゼンテーション技術」という名称は、内容が小さく感じられるので、「情報処理スキル」に変更すべき。

### 議事3 魅力ある大学づくり委員会の検討事項について

人文学部長から、配付資料④を基に魅力ある大学づくり委員会の検討事項についての説明があり、特段の意見はなく承認された。

### 議事4 宮崎公立大学学則の改正について

事務局長から、配付資料⑤と参考資料①を基に宮崎公立大学学則の改正についての説明があり、特段の意見はなく承認された。

### 議事5 宮崎公立大学各種規程の改正について

企画総務課長と学務課長から、配付資料⑥、参考資料②と③を基に宮崎公立大学各種規程の改正についての説明があり、特段の意見はなく承認された。

### 議事6 平成26年度開講科目及び授業時間割について

教務部長から、配付資料⑦・別添資料③を基に平成26年度開講科目及び授業時間割についての説明があり、特段の意見はなく承認された。

その他の議事はなく、引き続き報告に移った。

### 報告1 教員の採用及び昇任について

事務局長から、配付資料⑧を基に、教員の採用及び昇任についての報告があった。



## 報告2 平成26年度入学試験の実施状況について

学務課長から、配付資料⑨を基に、平成26年度入学試験の実施状況についての報告があった。学長から、今後、早い段階で分析を行い、改善すべき点は改善したいとの意見が出された。

## 報告3 平成25年度就職状況について

就職支援室長から、配付資料⑩を基に、平成25年度就職状況についての報告があった。

## 報告4 「学生による授業評価」の来年度以降の実施方法について

教務部長から、配付資料⑪を基に、「学生による授業評価」の来年度以降の実施方法についての報告があった。

## 報告5 宮崎公立大学教職課程の教員養成の理念と人材育成について

教務部長から、配付資料⑫を基に、宮崎公立大学教職課程の教員養成の理念と人材育成についての報告があった。

## 報告6 宮崎公立大学市民講座について

企画総務課長から、配付資料⑬を基に、宮崎公立大学市民講座についての報告があった。

## その他

学長から、完成した英語版の大学案内について報告があった。